

**平成29年度  
総合型文化クラブ  
モデル事業  
報告書**

## I 事業計画

### 1 目的

子どもの頃から文化芸術に触れ親しむ機会を設けることにより、子どもたちの豊かな心と感性を育むとともに、地域への愛着と誇りの醸成を図ることを目的とする。

## II 事業内容

### 1 概要

文化会館、公民館、放課後児童クラブ等において、放課後等を活用し、希望する児童・生徒が様々な文化芸術を体験・実感できる「総合型文化クラブ（以下、「クラブ」という。）」を創設・試行し、モデルを確立する。

### 2 モデル地域の選定

県内市部2ヶ所（鶴岡市、新庄市）、町村部1ヶ所（山辺町）の計3ヶ所を選定し、実施する。

### 3 実施分野

伝統芸能、絵画、書道、茶道、華道、演劇、文芸、写真、食文化等からモデル地域の実情に合わせて実施する。

### 4 会場

モデル地域内の文化会館、公民館、学童クラブ等を活用する。

### 5 講師派遣

モデル地域の芸術文化団体に所属している方を中心に講師として派遣する。

### 6 実施期間

4月から翌年2月まで。

### 7 実施頻度

1分野につき月1回以上実施する。

### 8 実施方法

モデル地域の市町村芸術文化協会に事業運営を委託し実施する。

## III 実施概要

モデル地域	実施分野	対象児童	実施回数	延べ参加人数
鶴岡市	詩吟、尺八、文化箏、華道、茶道、日舞、民話、琵琶、ちぎり絵、伝統食	放課後子供教室利用者	64	987
新庄市	伝統芸能、華道、伝統玩具、伝統食、絵画、茶道	学童利用者	25	808
山辺町	芸術アート体験、パステルアート体験、バルーンアート体験、子どもヨガ体験	学童利用者	8	137

## IV モデル地域実施状況

### 1 鶴岡市

#### (1) 実施内容

##### ①目的

子供たちが地域の文化を知り、興味を持ち、実際の体験・参加する取り組みにより、担い手として次世代への継承を目指す。よって地域への愛着と誇りの醸成を図る事を目的に、県が定める「文化による地域への愛着。誇り醸成事業」の平成29年度総合型文化クラブモデル事業鶴岡市版として実施した。

##### ②概要

鶴岡市放課後子ども教室を開催している地域の方々の協力を得て、子供たちの学習や様々な体験・地域の方々との交流など多様な活動の取り組みの中に総合型文化クラブモデル事業を組み込んで実施する。これにより、子供たちの芸術文化への関心が、より地域社会の中で心豊かに健やかに育まれ、地域への愛着・誇り醸成を期待する。

##### ○実施期日

平成29年6月7日～平成30年1月19日

上郷…33回 西郷…12回 由良…13回 大山…4回 榎引…1回 三瀬…1回

※5月、6月上旬各地域子ども教室コーディネーターの方々と打ち合わせを実施した。

##### ○場所

- 上郷コミュニティセンター（上郷地区放課後子ども教室）
- 西郷農林活性化センター（西郷地区放課後子ども教室）
- 由良コミュニティセンター（豊浦地区(由良)放課後子ども教室）
- 大山コミュニティセンター（おおやま放課後子ども教室）
- 下山添公民館（榎引西小放課後子ども教室）
- 三瀬コミュニティセンター（豊浦地区(三瀬)放課後子ども教室）

##### ○参加人数

6地域延べ人数987名 ・上郷（登録44名） ・西郷（登録74名） ・由良（登録21名）  
・大山（登録52名） ・榎引（登録17名） ・三瀬（登録46名）

##### ○実施内容

- ①邦楽部門…文化箏、尺八、琵琶 ②美術部門…ちぎり絵  
③日舞 ④吟詠部門…詩吟 ⑤民俗芸能部門…民話  
⑥茶道 ⑦華道 ⑧食文化…伝統食

※今年度は発表会を行う予定があったことから、稽古の成果を披露する場があるということ  
とで練習にも熱が入っていた。

上記のジャンルから協議して決定した。

##### ○発表会

- ・10月21日(土) 上郷小学校文化祭にて民話教室発表
- ・1月13日(土) 由良地区新年会にて文化箏発表
- ・1月21日(日) 上郷地区住民のつどいにて尺八、詩吟（文殊太鼓）発表
- ・1月27日(土) 荘銀タクト鶴岡開館記念プレ事業「芸能のつどい」

## (2) 分野毎活動報告

### ①詩吟

ア 実施日

1月18・25日（上郷地域）

イ 実施回数・延べ人数

2回 16人

ウ 実施会場

上郷コミュニティセンター

エ 対象児童

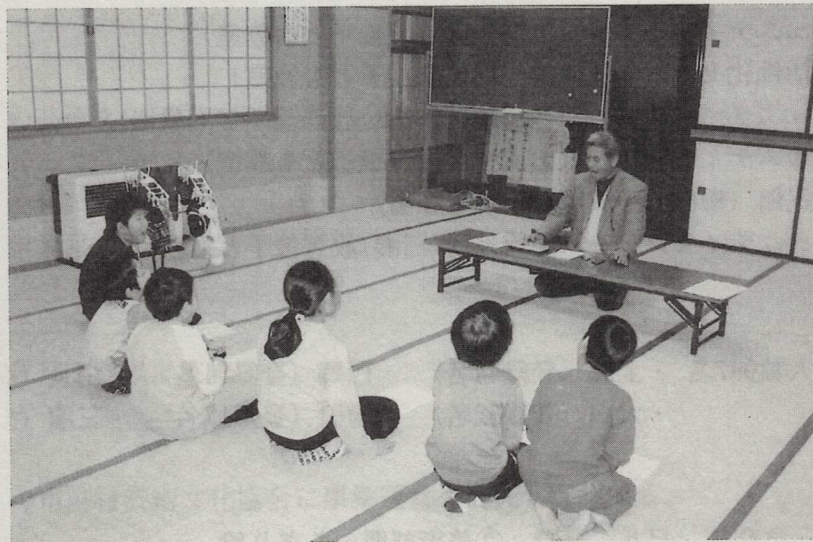
上郷地区放課後子ども教室

オ 実施内容（活動内容、写真）

城下町文化として詩吟を通じた地域文化の掘り起こしと、精神文化の向上に貢献することを目標にしている講師の先生から発声の方法や吟詠のイロハを学びました。

偶成 朱熹

少年易老学難成	（少年 老い易く 学 成り難し）
一寸光陰不可輕	（一寸の光陰 軽んず べからず）
未覚池塘春草声	（未だ 覚めず 池塘 春草の夢）
階前梧葉已秋声	（階前の 梧葉 已に 秋声）



### ②文化箏

ア 実施日

9月25日、10月5・16日（上郷地域）

9月4・22日、10月6・20日、11月1・10・17・24日、12月8・22日、1月12日（由良地域）

イ 実施回数・延べ人数

14回 158人

ウ 実施会場

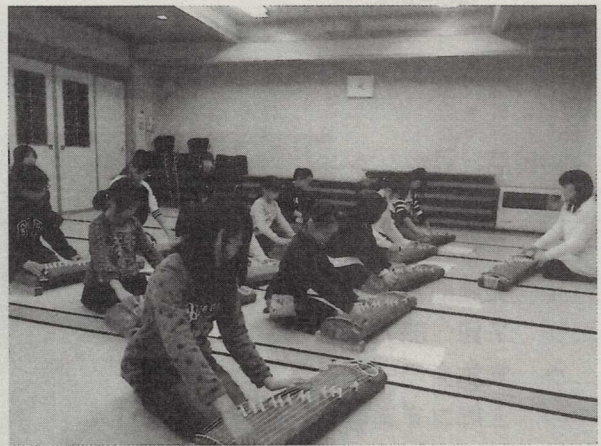
上郷コミュニティセンター、由良コミュニティセンター

エ 対象児童

上郷地区放課後子ども教室、豊浦地区(由良)放課後子ども教室

オ 実施内容（活動内容、写真）

本格的な「お箏」を半分にした「文化箏」を活用したお箏教室です。音色も、本箏と同じで日本の邦楽を勉強するには手軽に伝統楽器の学習が出来、丁度良いサイズで、楽しんで弾くことができ、その音色は優しく、優雅な旋律として響き、弾く子ども達も、聞いている保護者の方々にも感動を与えました。お箏は始まりと最後のあいさつが一番大事だと教えてくれ、短期間の間に1曲、2曲と仕上げることは、限られた時間の使い方や、集中力の出させ方など学年に差があり、指導者にとっても大変な部分であったようです。子ども達は、それぞれ宿題や、仲間と遊びたいこと、やりたいことが沢山ある中で、箏の学習に取り組み、正座や礼儀、そして和楽器を弾くことなど、普段とは違う空気の中で、それぞれの思いを合わせて発表まで出来たことは素晴らしい活動だったと思います。



③茶道

ア 実施日

11月8日（大山地域）

9月27日、10月25日、11月15日（由良地域）

9月28日（櫛引地域）

イ 実施回数・延べ人数

5回 115人

ウ 実施会場

大山コミュニティセンター、西郷農林活性化センター、下山添公民館

エ 対象児童

おおやま放課後こども教室、西郷地区放課後子ども教室、櫛引西小放課後こども教室

オ 実施内容（活動内容、写真）

初めはどうなることやらと心配しましたが、子ども達が回を進むごとに、真剣に興味をもって茶道に取り組んでくれました。

まず正座が出来ません。生活環境が椅子の様式です。親世代も正座はままならずでしょう。懐紙・ふくさ・茶せん・茶杓の名を教えること。お菓子のいただき方、お辞儀の仕方、お茶のいただき方など丁寧に指導しました。かた苦しさを感じつつも、子ども達はよく聞いて参加してくれました。少しでも大人の作法の入り口に入れたことを、ありがたく、将来何かの折に子ども達がお茶に接したことを思い出してほしいと思います。またお茶の指導を地域の方も手伝ってくれ、世代間の交流ができました。それにスタッフ

の方も季節に応じた菓子をを用意してくれたり、心配りが子ども達と一緒に創れたことは、有難かったです。



#### ④民話

ア 実施日

7月20・27日、9月7・14・21日、10月12日・19日（上郷地域）

イ 実施回数・延べ人数

7回 55人

ウ 実施会場

上郷コミュニティセンター

エ 対象児童

上郷地区放課後子ども教室

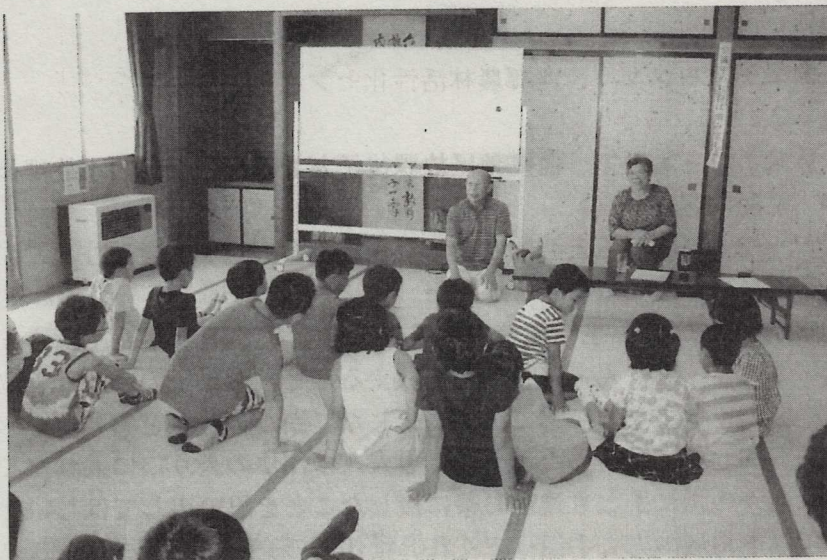
オ 実施内容（活動内容、写真）

庄内弁が分からない子供たち……。

方言は無形文化財だと語る。

民話を通じてこの地方の良さを伝える。

2日前の練習では紙を見ないと話せなかったが、本番の文化祭では3名が堂々と語りを披露し大きな拍手を頂いた。



⑤ 琵琶

ア 実施日

6月7日 (大山地域)

イ 実施回数・延べ人数

1回 28人

ウ 実施会場

大山コミュニティセンター

エ 対象児童

おおやま放課後子ども教室

オ 実施内容 (活動内容、写真)

本格的な琵琶語り (平家物語など) は子ども達にとって難しいので、地元のメツケ犬 (大山祭) を題材に演奏と語りを行っていただきました。日本伝統文化である古来の邦楽の音色とあいまって、琵琶の世界に魅せられていました。終了後に、子ども達が楽器に触り、重いなあとか、独特の音色に子ども達は興味深々でありました。



⑥ ちぎり絵

ア 実施日

7月18日、10月17日 (上郷地域)

11月29日 (大山地域)

9月8日 (西郷地域)

イ 実施回数・延べ人数

4回 138人

ウ 実施会場

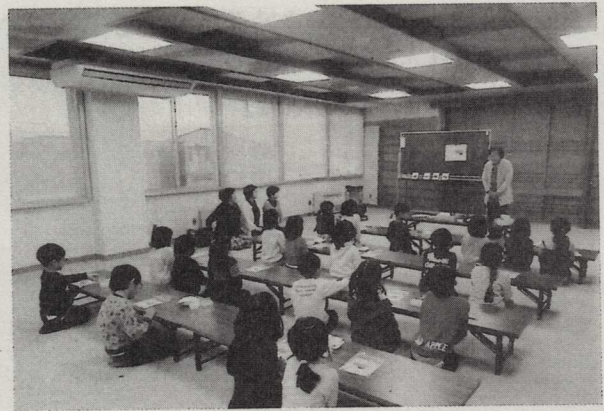
上郷コミュニティセンター、大山コミュニティセンター、西郷農林活性化センター

エ 対象児童

上郷地区放課後子ども教室、おおやま放課後子ども教室、西郷地区放課後子ども教室

オ 実施内容 (活動内容、写真)

ちぎり絵教室は教材を、地域・季節・人数・学年等を考えて用意して頂きました。お手本を用意して、子ども達自身が和紙をちぎって作品を作る手法であったが、とても喜んで、一生懸命創ってくれて、講師の方々との交流も楽しい時間が過ごせました。



### ⑦絵画・工作

#### ア 実施日

8月22日（上郷地域）

7月25日（西郷地域）

7月12日（由良地域）

#### イ 実施回数・延べ人数

3回 63人

#### ウ 実施会場

上郷コミュニティセンター、西郷農林活性化センター、由良コミュニティセンター

#### エ 対象児童

上郷地区放課後子ども教室、西郷地区放課後子ども教室、豊浦地区(由良)放課後子ども教室

#### オ 実施内容

鶴岡市で大正年間から活動している美術団体白鷺社の会員の方に講師になって頂き、子供たちに美術の素晴らしさ、ものを作ることの楽しさ、色の楽しさを伝えた。由良、西郷では型を使って作る孔版の一つステンシルを実施した。

型の数に限りがあったことや、型からはみ出してしまうくらいに楽しかったようだ。講師の先生が子供たちの自由な感性を伸ばせるような内容に切り替えて、「造形遊び」と題して、身近なものでつくる造形物で遊びながら作ることの楽しさを伝えた。

子供たちは何か目的があって作るのではなく、作る過程や、色そのもの、形の変化、色の変化を楽しんでいる。ということが分かり、子供たちの無垢な反応に講師の先生方も教室関係者も一緒になって楽しめた。

子供たちが純粋にものを描く、創るということに関心を持ってもらえたことは良かったと思う。





⑧ 日舞

ア 実施日

10月27日、11月10・17・24日、12月1・15日、1月12・19日（西郷地域）

イ 実施回数・延べ人数

8回 120人

ウ 実施会場

西郷農林活性化センター

エ 対象児童

西郷地区放課後子ども教室

オ 実施内容

今年度からの新たな教室として実施。

近年ヒップホップダンスが主流の中、日本古来の舞踊を知る機会自体なかなかないということもあり、西郷教室担当者からやってみたいというお声を頂き実現。

初めは先生の振りを、見よう見まねで覚えるのに必死だった子供たちも、発表会の期日が迫るにつれ、徐々に自発的に練習する姿が見えた。細かい指導がなかった為、子供たちからは正しい形(型)振り付けをして頂きたいとの要望があったが、講師側はあえて、日舞を頭で覚えるのではなく、心で感じてほしいという思いから最後まで楽しんで練習してもらうことを重点に指導してもらえたことが結果的に子供たちのやる気と、自発的な動きに拍車をかけて頂いたと、教室関係者が語っていた。

1月27日「芸能のつどい」本番は幕が開くと歓声上がり、華やかで煌びやかな舞台に子供たちも精一杯の力で踊り切った。関係者からは、貴重な経験だったとお礼のお言葉を頂き、またやってみたいとの声も頂いた。



⑨ 尺八

ア 実施日

7月11・26日、8月8日、9月5・19・26日、10月3・20・25・31日、11月7・14・21日、12月8・12日、1月9・16日（上郷地域）

イ 実施回数・延べ人数

17回 134人

ウ 実施会場

上郷コミュニティセンター

エ 対象児童

上郷地区放課後子ども教室

オ 実施内容

今年度からの実施教室。なかなか触れることのできない楽器に子供たちも興味を持ち、初日の参加者は24名と多かったが、何度吹いても音が出ず、2回目以降毎回減少していき、それでも、尺八講師の先生の子どもたちへの温かい眼差しと指導で何とか発表の場まで行きたいと思いを一つにして、根気強く練習を重ねていった。

一度音が出ても、次の回にはまた出なかったりを繰り返し、偶然や、その場しのぎではなく、本当に努力しないと楽器は答えてはくれない。思い通りにはならない難しい楽器との付き合い方を通して、何事にもめげず、真摯に向き合うことの大切さを学んだようだった。

最後には3名の出演（芸能のつどい）が実現し、周りの大人（学校の先生方、保護者、スタッフ）も終始感心し、本番は見事に演奏し、涙を誘った。

子供たちもこの希少な楽器の虜になり、また演奏したいと、抱負を語った。



⑩ 華道

ア 実施日

9月20日（大山地域）

イ 実施回数・延べ人数

1回 42人

ウ 実施会場

大山コミュニティセンター

エ 対象児童

おおやま地区放課後子ども教室

## オ 実施内容

おおやま放課後子ども教室のコーディネーターの方に鶴岡市芸術文化協会に加盟している小原流の会員の方がいらっしゃり、常日頃から子供たちと接しているコーディネーターの方ならではの発想で、子供たちの要望に応えた形で開催した。

華道教室は、実施するとなると、生花の調達や作った後の保存方法などが大変となり、今回は折り紙で思い思いの花を作り、本物の盆栽などに花を飾ったりして、緑と色の調和やバランス（華道の間取り方）を学び、実践した。実際の花ではないが、手先を使った折り紙の工程がとても楽しそうだった。自然のもの（盆栽）と折り紙の花（人工物）のコラボレーションも斬新で面白かった。子供たちが触れやすくなじみやすい折り紙を利用しての華道は新しい発想でやる側も見る側も楽しめた。

これを導入として、本物の華道に触れるきっかけとなればうれしい。



## ⑪ 伝統食

### ア 実施日

8月7日（上郷地域）

7月25日、10月3日（西郷地域）

9月4日（三瀬地域）

### イ 実施回数・延べ人数

4回 118人

### ウ 実施会場

上郷コミュニティセンター、西郷農林活性化センター、三瀬コミュニティセンター

### エ 対象児童

上郷地区放課後子ども教室、西郷地区放課後子ども教室、豊浦地区(三瀬)放課後子ども教室

### オ 実施内容

鶴岡市は「ユネスコ食文化創造都市」として認定されている。鶴岡市は各地域が特色を持ち、食材の宝庫であることを誇りに感じ、子供たちに実感してもらえるような内容を設定した。

市の食生活改善推進委員会にご協力を頂き、実施地域在住の推進員の方を派遣。地域産の材料などを調達してもらい、メニューを決めて頂いた。

さらに、地域の伝統行事に関連した行事食と呼ばれるものも同時に学び、地域の歴史

を知る宮司さんに協力を依頼し、行事食を食べる意味、地域の人々の思いなどを想像し、自分の先祖やルーツを学び、アイデンティティを考える機会にもなったように感じる。

また、地域の方と共に料理をすることで、希薄な世代の交流にも一躍かったのではないと思う。

地域の食改の方々には非常に好評で、孫ができたみたいでうれしいなどの声を頂いた。子供たちからは自分たちが普段見ている植物が、調理方法一つでこんなにおいしいものになる。自分たちの生きる血になっていることを実感してもらえたらうれしい。



## ⑫ 発表会

○【上郷小学校文化祭】10月21日



民話発表 (犬のケンカ・犬のあし・貧乏の神)

○【上郷住民のつどい】1月21日



尺八・詩吟発表



○1月13日【由良新年会】  
さくら・最上川舟歌 発表

H30. 1. 27(土) 第46回 芸能のつどい (総合型文化クラブ出演)

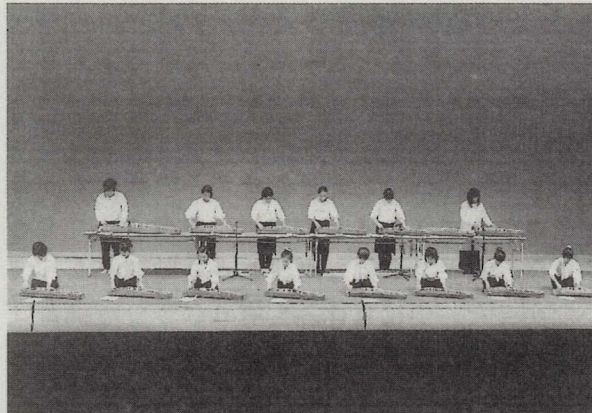
《荘銀タクト鶴岡》 13:00開演 16:00終演



【上郷】尺八教室より3名  
●チューリップ・メリーさんの羊・こきりこ節  
月・おうま…鶴岡竹友会



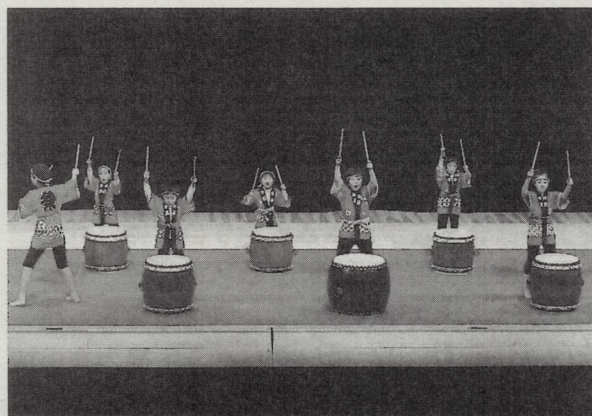
【上郷】詩吟教室より8名 ●偶成  
…鶴城清吟会



【由良】文化箏教室より12名  
●さくら・最上川舟歌…シンフォニック荘内流



【西郷】日舞教室より14名  
●さくらさくら・絵日傘…藤静会



【上郷地域から】文殊太鼓11名  
…矢引文殊太鼓 (ゲスト出演)  
●義経と弁慶・義経と静御前

### (3) 実施してみたの感想・利用者の声

#### 【講師より】

##### ■茶道教室講師

○初めて事業に講師として参加させて頂きました。子供たちの茶道に対する興味は高いと感じました。

子供たちが芸術文化に触れる機会が長く続けばと思います。

○大変お世話になりました。子供たちの真剣な態度に圧倒されながら関心を持っていただけてうれしかったです。日本の文化を知っていただく機会に感謝しております。

○芸術文化の体験、参加はとても大切なことだと思う。大人になるまで経験したことで長く学ぶことができる機会になればと思います。

##### ■文化箏講師

○地域の方の協力が素晴らしかった。準備から片付け、子供たちへの声掛け等徹底しており、指導している側としてはとてもありがたく、大変助けられました。子供たちの成長はとても素晴らしく、演奏への意欲、取り組み方もとても良かったと思います。

##### ■民話教室講師

○上郷地区の民話を担当しました。昔語りは他の部と異なり地味です。口頭で伝える文化です。

それに、文化祭での発表という目標がありました。

私たちはまず、子供たちの興味の示し方を観察し、けして無理をせず、自然体で向き合うことにしました。初日は低学年の子が十数名来てくれました。高学年は2～3人くらい。回数を重ねる毎に減り、最後は男子1名、女子2名になりました。時間があればいろんな話を聞いてもらい選択してもらいたかった。中に夏休みも有り、十分な練習はできなかったのに本番では落ち着いて見事に語ってくれました。土地言葉も理解し、御家族の協力の元練習を重ねた様子が伺われました。ありがとうございます。頑張ったね。と褒めてあげたいです。

今回は委託業務だそうですが、これで終わりにせず、文化クラブとして続けてもらいたいと思います。少人数ではあっても芽を出した段階です。上郷地区からは昔からの集落も旧家もあり昔話をご存知のお年寄りが御出でかと思われま。子供たちと交流が出来たら上郷地区に口頭文化が根付くのではないのでしょうか。何かお手伝いできることがあればボランティアさせていただきます。

○放課後児童の活動は児童の興味が様々なものにあり、民話を聞く、そして語りたいたいと取り組んだ児童は少数だった。発表が決まった段階からは意欲的で、発表も堂々としたものでした。

##### ■尺八教室講師

○アンケートの用紙を見て自分が何をしていたのかがハッキリしました。午後の空いている時間に子供たちの遊びの相手位に思っていました。が、芸術文化を広めようという事業の手伝いをしていたのですね。

まじめにやったはずですから役割は果たせたんだろうと思っていますが、足代の他、手当てがあったので恐縮している。しかし、責任を知っていたら張り切りすぎて子供たちに嫌われていたのかな……。

個人個人の性格、態度が全部違う。そこを全て認めて教える小学校の先生は偉いと思

いました。音が出なくて悔しくて泣いていた子はどうしているかな……。学校の先生なら顔も名前も忘れないだろう。

運よく音が出て、その後の努力で文化会館に出られる幸せな子。出られなかった子も、この時間は素晴らしい経験として記憶に残ることと思います。予算のこともありますが、県内3ヶ所では少ない気がします。尺八だけで県内3ヶ所、箏でも3ヶ所になっていかないと追いつかないのではないかと心配です。

- あまり見かけない和楽器との触れ合いで取っ付きにくかったとは思いますが、楽しくでき、今後も引き続きできたらいいなと思います。
- こういう機会はなかなかないので良かったと思う。
- 自由参加であるため、参加者数にムラがある。預けた楽器（尺八）を自宅や学校に置き忘れがあり、意識が低いことが気になった。特に、出演予定の子が上記のこと、欠席したりで出演に至らなかったのは残念であった。半纏のレンタルは大きな刺激になったように思う。
- 今回の経験は先々きっと子供たちのスキルになると思う。

#### ■ちぎり絵教室

- 秋になってからの事業だったので夕暮れが早かった。もう少し早い時期だったら良い気がしました。
- ちぎり絵の作品作りで皆さん夢中になり、和紙を手でちぎる難しさを感じたようでした。また、子供たちなりに素晴らしい発想があり、感心するほどの作品に仕上がったときはどの子もうれしそうな様子。終わる頃には次の目標、何をやりたいか自分の意見もしっかり発言し微笑みながら手伝いきうれしかったです。
- 希望があった地域に実現してあげられず申し訳なかった（道路事情）
- 関係者の方々の協力で時間内に完成でき子供たちにも喜んでもらった。やりがいがあった。

#### ■絵画・工作教室

- 1. 当日の担当者として楽しんで指導できたが目的とした地域への愛着と誇りをどう具現化するかが難しい。2. 参加者の子供の中にリーダー的な役割が必要と思う。3. 系統だった実践はできず、つけ焼き的な行事になってしまった感がある。4. 芸文協に沢山の実践母体があるので、位置づけも必要ではないかと思う。

#### 【子供たちより】

##### 《豊浦小学校2年 佐藤 萌咲》

私は箏や茶道の体験をしました。箏では練習をいっぱいして発表をすることになったからうれしかったです。みんなで音を合わせて弾いていると聞いている方も楽しくなるんだなということがわかりました。茶道ではお茶をたてるときすごく泡が立っていてびっくりしました。お菓子を食るときちゃんとした食べ方があることがわかりました。お茶も思ったより苦くてびっくりしました。もっと続けたいです。

##### 《豊浦小学校2年 佐藤智恵香》

私は文化箏と茶道を体験しました。楽しかったです。「お茶をたてる」という言葉を知りました。お茶をたてるとき、すごく手がかれました。正座をしながらお辞儀をするのも教わりました。お箏は最初「チューリップ」を習いました。難しかったです。でも慣れていくととても楽しくなっていました。そして桜を習って練習して本番頑張りました。来年もやりたいです。

### 《豊浦小学校6年 佐藤 亜胡》

今回、茶道と箏を体験してみたくさんのことを感じました。茶道では普段飲むお茶とは違い、自分でお茶をたてることでより一層奥深さが感じられました。そして作法も美しく丁寧にする上品さを感じ、日本風のおもてなしを学びました。箏では大きな舞台も経験させてもらいました。全員で奏でる箏の響きが心にしみる楽器です。ほぼ触れることのない箏をこうして触れてみることで日本風の美しい音色がまた違ったよさがあったて楽しかったです。このような体験をすることで1つの経験としてとても貴重だと思いました。私は和太鼓をやっている同じ和楽器だけど少しでも自分の経験値として皆に自慢したいです。

### 《上郷小学校2年 長谷川 綾》

私は詩吟と尺八を教してもらいました。詩吟の難しいところは音読するときの言葉を上げたり下げたりのはずところ。尺八は指を押さえる時穴がかくれなかったり、吹く時音が出なかったことです。音が出るまで先生からたくさん教してもらいました。練習してチューリップが吹けたときとてもうれしかったです。本番の発表の日が来たときドキドキしました。間違わずに2曲吹けたので良かったです。尺八の音が大好きになりました。とても楽しかったです。3年生でも尺八をしてもっとたくさん吹けるようになりたいです。いろんな習い事に挑戦していきたいと思います。

### 《上郷小学校3年 板垣 陸生》

私がチャレンジした文化は5つありました。1つ目は詩吟です。詩吟はタクトで発表しましたが緊張しました。2つ目は文化箏です。文化箏はチューリップが出来るようになった時はとても嬉しかったです。3つ目は民話です。民話は文化祭でやってとても印象に残っています。4つ目はちぎり絵です。ちぎり絵は1度しかやっていないけど楽しかったです。最後は尺八です。吹けるとときと吹けない時があったのでとても悔しい日もありました。この5つはやって良かったなと思いました。来年は尺八などにしっかり取り組みたいと思いました。

### 《上郷小学校6年 諏訪 由貢》

僕はこの伝統文化活動を通して、改めて伝統は大切だなと思いました。尺八と詩吟、太鼓をやりましたが、とても楽しくできたなと思いました。尺八は最初は全然音が出ませんでした。だんだんと音が出せるようになりました。難しかったところはリコーダーと指の使い方が違うことと、穴が5つしかないことです。詩吟は声の出し方です。音も言葉の最期に同じ音だったり上がったり下がったりしていたのでよくわかりませんでした。がちょっとずつ詠っていると覚えてきて最後まで詠えるようになりました。

本番ではリハーサル通り演奏できました。これからも伝統文化に親しみながら生活したいです。

### 《西郷小学校6年 伊藤 瑞姫》

はじめは日本舞踊が何かわからずにやっていたけど歌詞の意味やふりつけの表現の仕方がわかってきておもしろいと思った。手の角度や見る方向も大事なんだと思った。特にうれしかったことは、ほかの学年の人と仲良くなれたことで、練習をしているうちに笑顔になれて楽しく踊ることができた。

### 《西郷小学校2年 照井 琉愛》

さいしょは出来るかふあんで、れんしゅうがはじまってからもふりつけがよくわからなくて、少しいやなきもちがありました。でも、やっているうちに少しずつおほえられるようになって、とても楽しかったです。本番の日は、けしょうをしてもらったり、きものをきせてもらったり、かみをセットしてもらったりして、とてもうれしかったです。リハーサルでステージに立った時は、きんちょうすると思っていたけど、本番では練習したことをしっかりはっきすることが出来て、本当によかったです。またこのようなきかいがあればぜひやって



みたいと思っています。ありがとうございました。

《西郷小学校4年 佐藤 愛莉》

わたしは、まちがえないでおどれてうれしかったです。でも、おどっているときは、とてもきんちょうしました。家族全員で見に来てくれてうれしかったし、さいごにたくさんの人からはくしゅをもらえてうれしかったです。

【教室関係者より】

■上郷こども教室関係者（保護者より）

○詩吟はとても懐かしく、私が小学校のころ大谷部落の同級生たちが習っていて詠っていました。今まで尺八に触れることがない私も吹いてみましたがどんなに頑張っても息を吹きかけても音が出ない。

唇の形、当て方があるんだなと思い、音が出たときかなりうれしい思いをしました。私もチューリップを吹くことができました。尺八の魅力は音色、間近で触れて聞くことができ親子共々勉強になりいい体験でした。教えて頂いた先生方、関係者の皆さまありがとうございました。

○全く馴染みのない尺八と詩吟の練習をしていると聞き、正直この子たちに出来るのか、タクトでの発表まで数か月、先生からの指導日も少なく間に合うのかとても不安でした。先生からの指導がない日は楽しみながら自主練習を重ねました。先生のおかげで無事発表で来たことは大変うれしかったです。

尺八、詩吟、太鼓の良さを子供たちを通して親の私たちにも教えてもらいました。

子供たちは今も尺八の指使いをしたり、「またやってみたい!」と話しています。難しさの先に見えた伝統の良さとしさを勉強で来たようです。参加させて頂きありがとうございました。

○発表の時間は短かったですが子供たちの練習の成果が見え保護者としてもいい経験が出来ました。

また子供たちが練習発表経験できるステージを用意して頂けたら嬉しいです。

■由良こども教室関係者

○今回由良地区の子供たちが様々な文化に触れることができ、その機会を与えて頂いたことに感謝します。文化箏で県の発表会に出演させて頂き由良の新年会でも地区の方々に成果を見て頂くことができ個人的には地区の人に見て頂くことができたことが一番良かったと思っています。今後も同様の事業に参加できる機会があれば会場の提供、地区側との連携に協力したいと思います。

○地域の芸術文化を体験するという事で豊浦小・由良地区放課後こども教室が総合型文化クラブに参加させて頂きました。文化箏や大正箏、茶道など、子供たちからすれば古い作法、楽器に興味を持ち、さらに練習を続けられるか不安でしたが保護者の方からいい経験をさせてもらっているとの声を頂き、応援してもらいながら子供たちがとても楽しんで学習を続けてくれました。私たち親世代も未経験の楽器を扱うことができ、演奏会を目標に一体となって進めることができました。今後も続けることができればと思っています。

○まずは由良地区の子供たちに茶道や文化箏の芸術に触れる機会を頂いたことに感謝しております。今回、これらの芸術文化に触れた子供たちが、将来、高校生や社会人になったとき、この経験を思い出し茶道や箏を始める子もいるかもしれないですね。茶道については慣れない正座でお茶をたてる、運ぶ、お菓子を隣の人へ渡すなどの作法を通して

相手を思いやる心も養われたと思います。子供たちも毎回楽しみにしていた教室でした。文化等では1～6年まで学年に幅があり、講師の方々も大変だったと思いますが始まる時きちんと正座～姿勢を正して礼～練習と、ONとOFFの切り替え、集中力には感心しました。少子化の為、学校以外でこのように1～6年まで触れ合うことが少なくなったこの頃ですが、全員で心と音を合わせて大きな舞台でできたことは本当に貴重な経験となり、忘れられない思い出になったと思います。募集時子供たちが集まるだろうか保護者の方の反応も心配でしたがおかげさまで子供たちも毎回楽しんで取り組んでくれましたし、保護者の方々からは快く協力頂きました。このような活動をもっとやっていただきたいと声が上がりました。子供たちは勿論ですが、関わったスタッフ保護者も芸術文化・楽器に触れあえたこと、本当に良かったと思っています。来年度も機会があれば是非お願いしたいと思います。

#### ■西郷放課後子ども教室

新しい文化会館の舞台に立って踊りを披露する、という明確な目標があったので、最後まで関係者一同一致団結して事業に当たられました。

日本舞踊を教わろうと思ったのは、きれいな衣装が着られることも大きな理由でしたが、15名の子どもたちの着物の着付けは、覚悟はしていたものの、とてもたいへんでした。着物には必要な小物が多々あり、そろえるのに工夫が必要でしたが、その準備も含めて楽しい活動でもありました。

肝心の踊りは、初めはまったく動けていなかったものが、練習を重ねていくうちに形や振り付けの意味がわかってきて、奥深さを感じました、意外に筋力が必要なこと、着物ならではの所作があること、先生が根気よく教えてくださって、とてもありがたかったです。

発表会本番も大成功で、子どもたちも保護者も関係者も、満足のいくできばえでした。伝統文化というと、なかなか馴染のないものですが、このような機会に恵まれて、楽しく貴重な体験をさせていただきました。また、多くの方の協力があったので成功でした。舞台は総合芸術ということがよくわかりました。子ども教室関係者の絆を深める効果もありました。事業を継続していただきたいと思います。

#### ■大山子ども教室関係者

- 子供たちにとって良い刺激になったように思う。様々な体験ができたことでいつかどこかで思い出したり、興味関心の幅が広がってくれるのではと思っています。
- 貴重な体験をすることができ子供たちも喜んだ。着物を着れる子は着て今後参加させてみたい。